

自分と大切な人の命を守りましょう！「3密」(密集、密接、密閉)を避けて、うがい、手洗いを忘れずに！

“ふるさとちば”のための政策推進を



たけだまさみつ 千葉県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

飲酒運転根絶で趣旨説明

流山市選出で県議4期目の武田正光(たけだまさみつ)議員は、新年度の補正予算案を審議する6月定例会議の最終日に登壇し、「飲酒運転根絶と交通事故防止に関する決議案」の提案者となり、壇上から提案理由の趣旨説明を行いました。去る6月28日に八街市内で下校途中の小学生の列に、飲酒運転のトラックが突っ込み、児童2人が死亡、3人が重軽傷を負った悲惨な交通事故への反省から、二度とこうした飲酒運転による交通事故を起こさないことを誓う、県議会としての決意表明でした。そして、武田議員が自らの重要な政策課題に掲げる児童虐待防止対策では、東葛地域への児童相談所の新設が決定するなど、直近の県政の動きを県議会報告として特集しました。



コロナ対策をした壇上に立つ武田議員

6月 県議会

登壇し決議案に賛同求め！

趣旨説明に登壇

「飲酒運転根絶と交通事故防止に関する決議案」は、自民党議員団が県議会に提出したもので、武田議員はその代表者として議場で趣旨説明を行いました。

武田議員は「飲酒運転根絶と交通事故防止に関する決議案」は、自民党議員団が県議会に提出したもので、武田議員はその代表者として議場で趣旨説明を行いました。

去る6月28日、本県八街市において、学校から下校途中の小学生の列に、飲酒運転のトラックが突っ込み、児童2人のかけがえない尊い命が奪われ、3人が重篤となる痛ましく筆舌に尽くしがたい事故が発生した。

決議案の全文

今回の事故は、運転者が酒気を帯びた状態で運転していたことが、一番の要因であり、飲酒運転で検挙される者が後を絶たない現状において、飲酒運転の根絶に向けての対策を層強化することが必要である。そのためには、運転者及びその雇い主の徹底した法令順守をはじめとした、県民の交通安全意識を向上させるための啓発や指導体制の充実も急務になっている。

また、今回の事故現場は、通学路でありながら歩道やガードレールが未設置で十分な交通安全対策が取られていなかったことも課題として浮き

「人優先の交通安全思想」のもとに、家庭や学校、職場、地域など、県民が一体となって飲酒運転を根絶するための施策展開を強く求めるとともに、全国に誇れる安全で安心な千葉県の実現に向けて行動することを、ここに宣言する。

以上、決議する。

監査委員に就任

武田正光議員は、令和3年6月から監査委員制度に基づき、千葉県の監査委員に選任されました。

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

たけだ 正光 県議事務所

〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105
TEL.04-7159-0518
FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 検索

<http://www.takeda-hashiru.com>

最後に「人優先の交通安全思想」のもとに、家庭や学校、職場や地域など県民が一体となって、飲酒運転を根絶していかなければならないと強く主張しました。加えて、交通安全対策の施策展開によつて、今回の事故を契機に、「全国に誇れる安全安心な千葉の実現に向けて行動していくことを宣言する」と議場に呼びかけました。

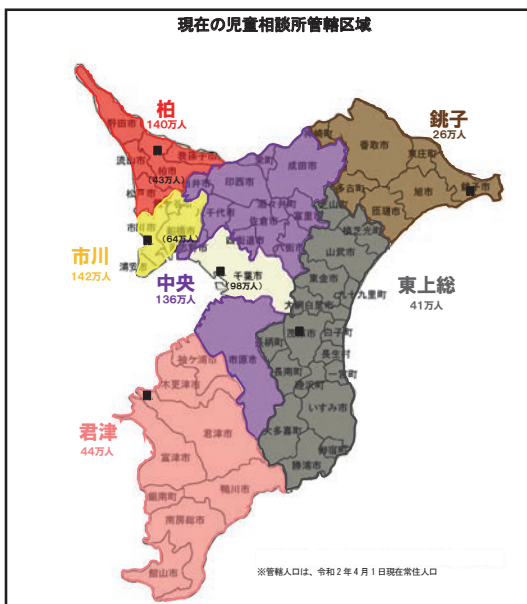
この決議案は、議会最終日の7月13日に自民党から提案され、武田議員の趣旨説明の後、採決に移りましたが、各党派とも賛成し、決議案は全会致で採択されました。

東葛地域

児相を2カ所新設へ



※中核市である船橋市及び柏市は独自に児童相談所を新設予定



※千葉市については、市の児童相談所が所管

令和元年の女児虐待死の反省から

印西市と松戸市へ

県児童家庭課は6月末、児童虐待防止を視野に、東葛地域での児童相談所(児相)の管轄区域の見直しに伴って、新たに印西市と松戸市に児童相談所を新設することを明らかにしました。

県は、昨年6月の児童相談所の管轄区域の見直しに

ついて、千葉県社会福祉審議会からの答申を受けて、印旛郡市及び松戸市鎌ヶ谷市をそれぞれ所管する児童相談所の新設に向け、用地の選定を進めてきました。

新設予定地選定の考え方として、県は未利用の公有地を活用を基本に、交通機関

等の利便性や周辺の環境など諸条件を考慮し、立地する市町村の援助機能や相談機能、一時保護機能などの役割も踏まえて決定したとしています。

この結果、印旛郡市を所管する新設の児童相談所は、建設予定地を

○印西市牧の原の県企業局所有地(約7千平方メートル)とし、

松戸市・鎌ヶ谷市を所管

これまでの経緯

県は、児童相談所新設の

背景として、令和元年1月に野田市で発生した小学4年生の女児虐待死亡事件から、国の検証結果によって、所轄する柏児童相談所の管轄人口が平均的な管轄人口を大きく上回っていたことが明らかにされたことから、児相の整備によって体制を強化し、相談者のきめ細かい対応を図るとともに、子どもの最善の利益が守れるよう取り組んでいくためと説明しています。

また、この事件を契機として武田県議を座長とする自民党の児童虐待防止プロジェクトチームの提言を受け、同年10月に「千葉県子どもを虐待から守る条例」の改正案が成立。合わせて虐待防止のさらなる充実強化を求める附帯

する新設児相は、
○松戸市高塚新田の市有地(約7千平方メートル)とされました。

今後の整備に向けたスケジュールは、基本設計を令和3年度から4年度にかけて行い、実施設計は令和5年度までに実施。建設工事は令和6年度から7年度まで

○印西市牧の原の県企業局所有地(約7千平方メートル)とし、松戸市・鎌ヶ谷市を所管する新設の児童相談所は、建設予定地を

附帯決議では、「1カ所当たりの児童相談所の管轄人口が適正な規模になるよう、管轄区域の早急な見直しと児童相談所の新設」が求められており、昨年2月に千葉県社会福祉審議会に管轄区域の見直しが諮問されました。

そして昨年6月に同審議会から答申があり、「千葉県子どもを虐待から守る基本計画」が策定され、2カ所の増設を目標とすることが明記されました。

また、新設の児相では、プライベートに配慮した施設内のレイアウトに配慮し、小学生以上は個室が基本。子どもの年齢や状況に応じた適切な環境整備に配慮するとしています。

ワクチン接種の状況

新型コロナウイルス感染症の拡大で、高齢者及び一般県民などへのワクチン接種が呼びかけられています。県内での接種率は未だ十分とは言えません。

6月県議会の自民党代表質問で、県内の接種率の状況について熊谷俊人知事は次のように答弁しています。県議会の質疑から、ワクチン接種の状況をご報告

自民党代表 県内におけるワクチン接種の進捗状況はどうか。また、接種が円滑に進められるよう、市町村をどのように支援しているのか。

熊谷知事 市町村では、優先度の高い高齢者等の接種から着手しており、6月21日現在、対象者約170万人に対し、1回目約81万人、2回目約23万人の接種を完了しました。

県においても、市町村における接種が円滑に進むよう、千葉県看護協会と連携し、看護師を必要とする市町村と潜在看護師を速やかにマッチングする体制を整えたほか、医師を必要とする市町村と医師のマッチングについて、医師会や関係団体等と調整を行っています。

たけだ正光県議 プロフィール

経歴	
・S44	8月生まれ
・S57	流山市立八木南小卒業
・S60	流山市立八木中卒業
・S63	専修大学松戸高校卒業
・H4	中央大学商学部卒業 公認会計士
・H19	千葉県議会議員選挙初当選
・H23	2期目当選 県土整備常任委員会委員長
・H25、26	環境生活警察常任委員会委員長
・H27	3期目当選
・H31	4期目当選
・R2	議会運営委員会 副委員長
・R3	監査委員に就任

現職
自民党千葉県連青年局 相談役
児童虐待防止対策プロジェクトチーム座長

ワクチンの副反応

自民党代表 ワクチン接種の副反応について、県内の発生状況はどうか。また、県民が安心して接種を受けられるよう、どのように取り組んでいるのか。

熊谷知事 県内の副反応は、5月31日現在、接種回数約52万8千回に対して、0・05%に当たる274件が報告されています。内容は、アナフィラキシー

47件で、発生割合は0・01%。その他の副反応は227件で、主な症状は発熱、頭痛、筋肉痛、じんましん、めまいなど一般的な予防接種で起こりうるものとなっています。

県では、ワクチンの安全性や有効性を県のホームページや集団接種会場などで周知・啓発し、県民の不安を取り除くように努めているところです。



上空からの撮影動画をたけだ正光チャンネルにアップしております
ドローン映像
(仮称)三郷流山橋の工事状況
橋脚・橋台 全25基中 18基完成 7基工事中